



出羽

Vol.108 2026.1

第6後方支援連隊広報紙

発行所/第6後方支援連隊OB会事務局

山形県東根市若木通り3丁目6-8
TEL.090-6218-6739

印刷所/坂部印刷株式会社

山形市流通センター1丁目5-3
TEL.023(631)2056

連隊長要望事項

信頼

第6後方支援連隊

ホームページは
こちらから→



謹賀新年



第六後方支援連隊長
一等陸佐

小島 一男

新年明けましておめでとうございます。年始にあたり、今年も戦いの原則を引用してご挨拶したいと思います。その最後に挙げられているのは「簡明」戦いは、錯誤と混乱を伴うのが常態である。このため、戦いにおいては、すべて簡明を基調としなければならない。明確な目標の確立は、簡明の基本である。とされています。

今、世界で起こっていること、日本の近隣諸国の状況、そして国内情勢などを踏まえると、我々は、まさに錯誤と混乱の真ただ中にいると言えるでしょう。連隊は、「国民の信頼を獲得すべく有事に真に戦えるよう強くなる」という明確な目的・目標を確立し、そして達成するため、任務・訓練、兵站・衛生支援に精励します。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

〔銀山温泉(山形県尾花沢市)〕

新年の挨拶



第六後方支援連隊
OB会
会長 岡崎 誠

新年明けましておめでとうございます。第六後方支援連隊の皆様には、ご家族共々輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

第六後方支援連隊は、第六師団唯一の兵站部隊として、平素から師団隷下の兵站支援を担うとともに、災害有事には保有する機能を最大発揮して被災民の救助・復興機運の醸成に貢献する等、被支援部隊をはじめ、地域民の方から喜ばれる支援活動の道を歩まれておられることに心から敬意と感謝を表す次第です。

さて昨今、我が国を取巻く安全保障環境の緊迫化と国内における未曾有の災害が発生する最中、自衛隊には多様な任務をこなす役割が求められております。

このような情勢下、第六後方支援連隊は、あらゆる任務に即応し得る精強部隊の育成に日々精進されており誠に頼もしく誉れとするところでございます。

私も連隊OB会も部隊・隊員が憂いなく任務遂行できるよう、同じ役割を担う自衛隊協会との連携のもと、引き続き部隊側との意思の疎通に留意し、頭・心一つにして支援を行っていく所存です。

念頭にあたり第六後方支援連隊の益々のご発展と隊員皆様のご健闘とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



第六後方支援連隊
後援会(峰三会)
会長 石澤 政光

新年明けましておめでとうございます。隊員及び隊員御家族、OB会、協力諸団体、そして後援会々員皆様には輝かしい健やかな新年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。

さて今年も午年、午は十二支の七番目であり午年には「物事がうまくいく」といった意味があり馬の力強さから「活力」「健康」「豊かさ」などを象徴します。

昨年は、夏の猛暑の日が続く熱中症対策など国も規制に動き出した年でもありました。幸いにして、大きな災害も連隊としての災害派遣もなく、本来の連隊の訓練に磨きをかけ、いざと言う時に備えられた事と思っております。後援会として、連隊の行事等に参加させていただき、部隊及び隊員との交流を深められたことに感謝致します。

本年も各種行事等に参加、協力し、隊員の皆様と会員との更なる団結と親睦を深めてまいりたいと思っております。

年頭にあたり隊員及び隊員御家族、OB会、協力諸団体、そして後援会の皆様のご健康とご発展をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



副連隊長
二等陸佐
石沢 洋介

連隊協力諸団体の皆様、隊員御家族の皆様並びに隊員諸官、明けましておめでとうございます。希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

上番以来、「強靱な陸上自衛隊の創造」のためには、隊員の真の幸福(非精強、充実感)が必要であり、日頃から幸福とは何か、どうすれば充実感をもって個人が職務に取り組みことができるのかについて考えることが多い中で、いろいろな良書に出会いました。

私はそれらを吸収した結果、無駄なことにお金を使わず金融基盤を充実させ、安心して個々の職務に邁進し、休日には家族や趣味に勤しみ、それが職務にも好影響を与えるという「ワークライフハーモニー」をポリシーとして、隊員指導に取り入れていく所存です。

自分自身も、新年にあたり公私に目標を立て、新しい考え方をどんどん自分の中に取り込み(パクリ)、「強靱な陸上自衛隊の創造」とそのための隊員の幸福実現に関わっていくと思っております。今年もよろしく申し上げます。



連隊最前任上級曹長
准陸尉
三浦 正

新年明けましておめでとうございます。連隊隊員及びご家族の皆様、また日頃より格別のご支援を賜っておりますOB会、後援会、協力団体の皆様におかれましては健やかな新年を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、連隊冬季戦技競技会及び連隊持続走競技会を実施し、連隊の団結の強化を図るとともに、連隊訓練検閲(輸送隊・衛生隊が受閲)及び米陸軍との共同訓練(ライジングサングター)に参加し、師団唯一の兵站・衛生部隊としての錬度と実力を向上させ、各種任務を完遂することができました。これも我々を支えてくれている隊員御家族の皆様のご信頼とご理解、OB会、後援会、協力団体の皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本年におきましても、使命を全うできる「真に戦える准曹士の育成」を目指して「師弟同行」を心がけ隊員の指導に愚直に取り組んで参りますのでよろしくお願いたします。

結びに、本年が皆様にとって「ウマくい年」であります事また、素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

各大隊長等 新年のご挨拶

本部付隊



隊長
1等陸尉
柴原 公平

新年あけましておめでとうございます。隊員、ご家族の皆様、OB会、後援会の皆様におかれましては、健康やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年三月に着任以降、「継続」と「思いやり」を掲げ、部隊一丸となつて訓練、各種業務、競技会の運営等無事に任務を遂行することができました。これも各隊員の努力及びご家族のご理解並びに関係者の皆様のご理解・ご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

第一整備大隊



大隊長
2等陸佐
鳴崎 俊宏

新年あけましておめでとうございます。隊員、ご家族の皆様、OB会及び後援会の皆様におかれましては、健康やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、「鍛え、蓄える年度」を大隊の隊務方針の柱として各種訓練、特に戦闘員として基礎となる行進訓練の錬度を高め、所望の成果を得ることができたと考えています。これは、隊員各々の弛まぬ努力はもとより、隊員家族の皆様のご理解と献身的な支えがあったからこそだと考えており、心より感謝申し上げます。

第二整備大隊



大隊長
2等陸佐
下久保 晋司

新年あけましておめでとうございます。隊員及びご家族、OB会、後援会の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、大隊は師団第一線部隊に対する直接支援任務を遂行し、三つの中隊の訓練検閲を実施し、その錬度を判定し、更なる向上を促すとともに、小隊以下が連隊の基幹となり米陸軍との共同訓練(ライジングサンダール25・米国)に参加して日米共同による相互運用性を踏まえた実力の向上を図って参りました。支援任務及び国内外における錬成訓練に専念できる環境の醸成にご支援を頂いております。皆様方には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

補給隊



隊長
2等陸佐
沼倉 康秀

新年あけましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様、OB会、後援会の皆様におかれましては、健康やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和七年三月に着任以来、「目的の理解と目標の確立」「思いやり」を掲げ、部隊一丸となつて、教育訓練、支援業務等、隊務に取り組み、令和八年度の師団訓練検閲に向けて成果を積み上げることができました。この際、各人が無事に職務を遂行し、組織として任務を遂行できましたのも、隊員各人のたゆまぬ努力と、ご家族をはじめとした皆様のご理解・ご協力・ご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。令和八年も、隊員一人一人が充実した一年を過ごせるよう、努力する所存です。

輸送隊



隊長
3等陸佐
松本 雄輝

新年あけましておめでとうございます。OB会、後援会をはじめ隊員ご家族の皆様におかれましては、お健康やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、連隊訓練検閲をはじめとし、各種訓練、支援、競技会等、多忙な一年でありましたが、所属隊員の少ない中、隊員一丸となり、所望の成果を収めることができました。これもひとえに隊員個々の努力はもとより、隊員ご家族のご理解、OB会、後援会並びに関係者の皆様のご協力の賜物であると心より感謝申し上げます。

衛生隊



隊長
3等陸佐
海藤 信良

謹んで新春のお慶びを申し上げます。OB会、後援会並びに隊員ご家族の皆様におかれましては、平素から部隊に対するご理解及びご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は連隊訓練検閲を受閲し、酷暑下の三十km徒歩行進も含め、部隊及び各隊員がこれまで達成してきた成果を發揮することができました。また、ライジングサンダール25に参加し、日米衛生の相互理解を深めたほか、隊員一人ひとりの医療に対する弛まぬ努力により、良好な成果とともに支援任務を遂行することができました。

本年もあらゆる任務を遂行できるよう、そして、隊員が笑顔で勤務できるよう、引き続き部隊錬度と隊務運営の向上に尽力する所存です。変わらぬご支援及びご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各中隊長等 新年の抱負

本部付隊



隊長
1等陸尉
松本 大輔

新年、あけましておめでとうございます。旧年中は、部隊及び所属隊員に対し、平素から多大なるご支援、ご協力、ご理解を頂き深く感謝申し上げます。



中隊長
1等陸尉
佐々木雄太郎

新年、明けましておめでとうございます。隊員、隊員御家族の皆様及び関係協力団体の皆様、健康やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。本年も、任務を遂行すべく、力強く全力を尽くしてまいりますので、変わらぬ御理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

施設整備隊



隊長
1等陸尉
鈴木 英樹

新年明けましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様、OB会、後援会の皆様、平素よりご支援心から感謝申し上げます。本年も、「寛心」と「団結」をモットーに、精進して参る所存でありますので、皆様の変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通信電子整備隊



隊長
1等陸尉
情野 義夫

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年三月着任し三十年ぶりの神町勤務に引き締め臨んでいます。旧年中は、我々の様々な取り組みに対し、平素からご理解とご支援、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。本年度も変わらぬご協力をお願いします。

本部付隊



隊長
1等陸尉
小笠原剛久

新年明けましておめでとうございます。隊員、隊員ご家族の皆様、関係協力団体の皆様におかれましては、健康やかな新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

第二整備大隊本部付隊の昨年の活動については、連隊訓練検閲に参加し、「フルパフォーマンス」での三十kmの徒歩行進からの防衛陣地構築を実施したほか、大隊事業である三つの中隊等の訓練検閲統括を支援し、大隊の更なる戦闘・支援能力向上に貢献しました。また、ライジングサンダール25にも本部付隊長以下四名の隊員が参加し、アメリカの地にて米軍との兵站・支援能力に係る実用性に大きく貢献した年となりました。

本年も大隊本部付隊として更なる飛躍の年となるよう邁進してまいります。引き続きご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



中隊長
1等陸尉
結城 誠

新年明けましておめでとうございます。昨年八月第一普通科直接支援中隊長として着任以来、大隊訓練検閲をはじめ各種支援等、皆様のご協力により任務遂行出来た事を感謝申し上げます。

本年も「できるやり方を探せ」を要望事項に掲げ、更なる飛躍が出来るよう努力していき所存でありますので、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

第2整備大隊



中隊長
3等陸佐
小高 健司

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、部隊及び隊員に対し、平素からご理解とご支援、ご協力を頂きまして深く感謝申し上げます。

本年も、部隊の任務達成を第一義とし、できない理由を考へることなく全力で部隊の育成に努める所存でありますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第三普通科直接支援中隊



中隊長
1等陸尉
岩淵 賢志

新年明けましておめでとうございます。昨年は格別のご支援・ご協力ありがとうございました。昨年三月、中隊長に上番し「やるべきことをやる」を掲げ、風通しの良い職場環境の醸成、主要装備品の可動率九〇%を維持出来たのも隊員一人一人の頑張りのおかげです。

本年も装備品可動率を意識し隊員が充実し、目標に向かつて任務遂行出来る部隊育成に取り組んで参ります。福島駐屯地3DSへお越しの際は激励頂ければ幸いです。

第2整備大隊

高射直接支援隊



隊長
1等陸尉
國分 隆弘

新年あけましておめでとうございます。昨年は、大隊訓練検閲受閲、静内射場での対空実射訓練支援等、皆様のご協力により自己な任務遂行できた事を感謝申し上げます。

本年も高射直接支援隊として更なる活躍が出来るよう一致団結して任務遂行に邁進する所存でありますので、引き続きご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

第2整備大隊



小隊長
2等陸尉
峯岸 学

新年あけましておめでとうございます。隊員、隊員ご家族の皆様及び、関係協力団体の皆様方におかれましては、健康やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年三月着任以来、皆様方のご支援・ご協力により任務を遂行することができましたことを心より御礼申し上げます。

本年においては駿馬のごとく、鋭く勢いのある一年となります。旧年同様「積極支援」を念頭に小隊一丸となり任務に邁進する所存でありますので、皆様方の変わらぬご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

衛生隊

治療隊



治療隊長
1等陸尉
小松 格

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。隊員及びご家族の皆様、OB会、後援会の皆様におかれましては、健康やかに新年を迎えられたことと思います。

昨年は師団訓練検閲を受閲し部隊の錬度を評価していただきました。改善すべき点は複数存在しますが、この一年間積極果敢に訓練に励み、着実に錬度を積み上げてきたと考えておりますので、本年も引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



20歳の抱負

連隊から17名の隊員が20歳を迎えました。
連隊の若手戦力の筆頭として大いなる飛躍を期待しています。

<p>成人としての責任と自衛官としての誇りをもって日々成長していきます</p>  <p>輸送隊 士長 秋元 愛美</p>	<p>反省はしろ！後悔はするな！</p>  <p>二整大三普直支中 士長 高橋 太洋</p>	<p>初級陸曹として大人としての責任をもって行動する</p>  <p>一整大施整隊 三曹 加藤 和</p>	<p>弾薬特技を極める！</p>  <p>一整大火車中 三曹 喜多 和晴</p>
<p>二十歳になっても変わらず、仕事を頑張り、部隊に貢献したいです</p>  <p>衛生隊 士長 石山 柊</p>	<p>日々の業務の充実化とスキル向上</p>  <p>補給隊 士長 小関 隼人</p>	<p>一所懸命を信念に頑張ります</p>  <p>一整大施整隊 士長 松田 紗樺</p>	<p>陸曹候補生試験に合格し、模範となる陸曹を目指します</p>  <p>一整大火車中 士長 志田 朋也</p>
<p>何事もチャレンジ精神を忘れず、努力します</p>  <p>衛生隊 一士 櫻田 結唯</p>	<p>学びを重ね、整備力を磨く</p>  <p>二整大即機直支中 士長 渡辺 瑠美</p>	<p>挑戦！</p>  <p>一整大通整隊 三曹 久保田 純平</p>	<p>凡事徹底！</p>  <p>一整大火車中 士長 真木 椋平</p>
<p>社会人としての自覚をもち成長していきたい</p>  <p>衛生隊 一士 清見 奈々</p>	<p>一生懸命頑張ります！部隊に貢献できるように頑張っちゃいます！</p>  <p>補給隊 士長 榎本 悠人</p>	<p>自立した大人になるためのさらなる成長</p>  <p>二整大三普直支中 士長 木川田 愛花</p>	

ライジングサンダー25に参加して

本部隊 士長 安齋 伸哉

私は、米国における米陸軍との共同訓練(ライジングサンダー25)に有線通信手として参加しました。

自分は、各指揮所の有線通信網の構成、維持を実施しました。初の海外訓練であったため、現地の地形、気象等の特性に順応した状態で訓練に臨めるのが個人的な懸念事項でしたが、杞憂に終わり、無事訓練を終えることができました。今回の訓練に於いて、国内とは異なる地形的特性の中、有線構成を実施したため有線通信手としての機能を向上させることができました。この経験を今後に活かし、あらゆる任務を遂行できるよう頑張ります。



第一整備大隊 二尉 岡崎 敦輝

ライジングサンダー25に参加し、全般支援隊長及び整備隊の運用訓練幹部として各種検証を実施した。HMMVY及びJLTVの収容並びにストライカーの回収訓練を通じて、各種回収車両及び被回収車両の性能、能力等の違いを学んだ。また、米軍との共同訓練を通じて、認識共有の難しさ、言語の重要性を再認識した。私にとって本訓練で学んできたことを今後、幹部として活かし、今後の日米共同訓練のさらなる繁栄のため成果を残したいと考える。



第二整備大隊 即応機動直接支援中隊 二曹 谷野 正周

私は、アメリカ合衆国ヤキマ演習場で実施されたライジングサンダー25に即応機動直接支援中隊の先任として約一か月間各種兵站訓練に参加した。

その中で感じたことは、米軍は戦場を経験し実践を積んでいるだけあり、回収車両をどんな不整地でも素早く回収することに特化、追求していた。また、自衛隊のような整備段階区分がなく、代わりに、各車両・部位のスペシャリストが存在し自信と誇りを持って職務を全うしている姿に感銘を受けた。



補給隊 三曹 関矢 健太

今回、兵站部隊として初めての共同訓練という貴重な経験を経て、多くのことを学びとともに、食文化の違いを大きく感じました。アメリカの食文化は見かけによらず甘い料理が多く、日本食にないような味付けや多様な料理もたくさん楽しめました。充実した余暇や米軍との交流で得られた学びも多く、今後に活かせるいい経験になりました。ライジングサンダー25に参加できなかった隊員にも今回の学びを伝えていきたいと思います！



輸送隊 士長 田中 千鶴

今回、アメリカ軍との共同訓練に参加し、貴重な経験をすることができました。

言語や文化の違いはありましたが、互いに協力し合い、同じ目的に向かって行動することで信頼関係を深めることができたと思います。特に、アメリカ軍の迅速な判断力や実践的な訓練方法は大変勉強になりました。自分自身の課題も明確になり、今後の訓練に活かしたいと思えます。国際協力の重要性を実感し、誇りと責任をもって任務を遂行していきます。



衛生隊 二曹 飯塚 怜奈

米軍装甲救急車を用いたの後送から処置、自衛隊野外手術システム内での手術、米軍ヘリを用いたの医療後送という一連の行動を共同訓練で実施しました。

事前に米軍の救急車を研修させていただきましたが、実際に共同訓練をしてみると言葉の壁を感じました。特に患者情報収集のための米軍衛生要員とコミュニケーションを取る際、英語の必要性を改めて感じました。

今回、日米共同訓練に参加し、とても貴重な経験となりました。



私の趣味

衛生隊 曹長 大沼 賢一

私の趣味は四十歳から始めたロードバイクでのポタリングです。ポタリングとは、目的地を特に決めずに自転車でのんびり歩くことです。

景色を眺めたり、ご当地グルメを味わったりと楽しみ方は様々です。ここ数年はけがで控えていますが、来春からは輪行(自転車分解して公共交通を利用)しながら距離にこだわらず、米沢の史跡を巡るリハビリポタリングで復活を目指します。



隊員家族の声

一生のお願い

第二整備大隊 三曹 山口 国広 姉 遠藤 峰子

東北の自衛官の皆さま、この度は拝読している「出羽」に寄稿を、通算千回目の二生のお願いだからと弟に依頼され筆を、とりました。

洗車が趣味の弟はついだからと、私の愛車を半日かけて手入れしてくれました。仕上がりはなかなかのもので、新車のようにです。彼に秘訣を聞いたところ、丁寧に汚れと鉄粉を除去しワックスを薄く何度も塗り重ねているとのことでした。自衛隊で学んだ靴磨きの精神が活かされているようです。

姉として弟に望む一生の願いは、毎週洗車してもらえたらありがたいのですが、母のためにも、無事に帰宅することです。自衛官の家族として、最大の理解者でありつづけ、これからもエールを送ります。国防を担う皆様とご家族に栄光あれ。



隊員の日常もお届けします！

我が隊の名物隊員

本部隊 曹長 大沼 淳彦

レンジャーピンの活動状況としては、「風通しの良い環境づくり」を行うため、挨拶を交わしあったり、悩みがあれば気軽に相談に乗ったりする等、コミュニケーションを活発にしています。また、仕事に対する緊張感の欠如を防ぐため、適度な緊張感を保ち、メリハリを意識して行動しているそうです。

本人が心配しているのは、戦隊シリーズが現在放送されているのを最後に、シリーズ終了と聞き、本人も焦っているのか、積極的に活動しています。



こんな特技あります！

第一整備大隊 三曹 久保田 純平

私の特技はスノーボードです。家族の影響で小学六年生の頃に始め今年で九年目になります。小さな頃から色々なスポーツを経験させてもらいましたが、スノーボードは特に上達が難しく何度も転び上手く滑れなかったのですが、滑れるようになった時の爽快感にハマリ毎年通い特技と呼べるまで上達しました。

私は出身が東京で雪を身近に感じるものがなかったため、現部隊が山形ということを生かし更にスノーボードの技術を磨きたいと思っています。



防衛省 職員 家族 団体 傷害 保険

<総合賠償型・親介護補償型(特約)オプション>
<団体長期障害所得補償保険「長期所得安心くん」略称:GLTD>

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 共済組合 がん 保険

<お見積・資料請求 <https://webby.aflac.co.jp/bouei/>>

防衛省 共済組合 火災 保険

☆ その他各種損害保険取扱い。

【取扱代理店】 **弘済企業株式会社**

詳しくは、下記の駐屯地保険常駐員にご相談ください。
神町駐屯地:0237-48-1151(内線5338)
木村:080-5049-0373、西塚:080-5881-9033

Gibraltar ジブラルタ生命

ジブラルタ生命保険(株) 山形支社 TEL:023-627-6311

日本のすみずみまで、保険の愛を

「職員割引は家族もOK! 学割もあります!」

神町駐屯地から一番近い教習所! 土曜日曜や仕事終わりにも教習可! 完全無料送迎付きなので安心!

車中型・普通・大型二・教習二・大型

お問い合わせは **東根自動車学校 TEL 0237-43-2400**

Kawasaki Powering your potential

川崎重工業株式会社 東北支社

仙台市青葉区中央1丁目6番35号 Tel:022-261-3611
<https://www.khi.co.jp/>

創業1929年 **OZAWA**

貴方だけの「オリジナル」を作ります。

記念品・贈り物・各種旗

株式会社 **小澤商店** TEL (023) 641-3301
ozawa-co@gray.plala.or.jp
山形市鶴巻町一丁目8-2 <https://ozawa-co.wixsite.com/index>

連隊創立36周年記念行事



連隊は、令和七年十二月二十日（土）、駐屯地隊員食堂において連隊創立三十六周年記念行事を実施した。記念行事の開催に先立ち、連隊に対し多大なるご協力を賜ったOB会 齋藤茂敏様、同じく三部享様、後援会高橋誠一郎様へ連隊長より感謝状が贈呈された。

今回の記念行事では記念会食のみ行われ、後援会名誉会長による乾杯の挨拶で幕を開けた。会食途中で行われた余興では、連隊長を含む隊員三名による和太鼓演奏を披露し、息の合った力強い演奏を会場に響かせた。さらに、後援会のご協力のもと抽選会も開催され、事前に抽選券を入れた隊員の中から選ばれた十名にお酒がプレゼントされた。こうして、隊員と連隊協力団体との親睦をより深めた祝賀会食は連隊最優先上級曹長の万歳三唱により幕を閉じた。

あらためて、連隊創立三十六周年記念行事にご臨席頂いた皆様、日頃より連隊に対し格別たるご支援ご協力を頂いている皆様に連隊一同心より感謝申し上げます。

広報だより

新年明けましておめでとうございます。日頃広報紙発刊にあたり、ご支援をいただいている各企業様を紹介いたします。

- | | |
|---|---|
| 朝日生命保険相互会社
あじき整健院
アルファクラブ東北株式会社
株式会社小澤商店
株式会社ジョイン
株式会社西健
川崎重工業株式会社 東北支社
弘済企業株式会社
坂部印刷株式会社 | 三協アウトドア部・刺しゅう工房
ジブラルタ生命保険株式会社
神町売店会
食べ処 秋田人
日本生命保険相互会社 山形支社
東根自動車学校
ホウトクHOUSE E株式会社
五十音順 |
|---|---|

本年も、ご支援・ご協力宜しくお願い致します。各部隊・隊員の皆様は是非ご利用ください。

門松づくり



令和7年12月7日（日）連隊OB会岡崎氏（隊友会会長）並びに連隊後援会石澤氏が入会されている隊友会山形支部が主催する「門松づくり講習会」に連隊長及び連隊最優先上級曹長が参加した。講師の石澤氏のもと、門松の竹の採取及び切削やこも巻き等について手ほどきを受け、参加者の進行及び交流を迎える態勢を整えた。

総合的な学習の時間支援

連隊は、令和7年10月24日（金）「総合的な学習の時間支援」を実施し、輸送隊の運転シミュレータ体験、深視力検査体験及び3 1/2トトラックの搭乗体験を行った。

運転シミュレータを体験した学生たちは初めての運転に戸惑いながらも、様々な状況が出される運転シミュレータをととても楽しみながら体験していた。連隊は、本支援を通じて、自衛隊に対する理解及び関心の醸成に寄与した。



OB会だより

事務局から
新年あけましておめでとうございます。OB会員の皆様においては、最良の一年でありますようお祈り致します。本年もどうぞご協力の程宜しくお願い致します。

これまでの実施事項

- （一）令和七年度第三回役員会（十二月七日）
- （二）連隊創立三十六周年記念行事（会食）（十二月二十日）
- （三）連隊期末・年頭行事支援（連隊贈呈）（十二月二十日）
- （四）広報紙「出羽」一〇八号の発刊・發送（令和八年一月二十八日）

危険業務従事者叙勲受章（秋）

安部正和氏（連本・本付）（十一月三日）

連隊長感謝状受賞

- （一）齋藤茂敏氏（OB会副会長連本・本付）（十一月十日）
- （二）三部 享氏（武器・整備大隊）（十二月二十日）

退官者

齋藤清喜氏（四月二十四日）
坂下博之氏（五月七日）

会員の訃報

大沼弘美氏（衛生）（十月十四日）

今後の予定

- （一）連隊銃剣道競技会激励（令和八年二月上旬）
- （二）令和七年度第四回役員会（令和八年二月十五日）
- （三）令和七年度連隊OB会総会・懇親会（クアハウス基点）（令和八年四月上旬）
- （四）広報紙「出羽」一〇九号の発刊・發送（令和八年四月上旬）



補給隊 3曹 相馬俊弘
ゆくと 陸翔くん(1歳5ヶ月)



第2整備大隊高射直接支援隊
2曹 今井大輔
ゆり 柚里ちゃん(5ヶ月)

食べ処 あきたびと

- ・定食は50人まで可能です！
- ・事前に予約をお願い致します。
- ・予約の際には、部署等も教えて下さい。
- ・皆さんの御来店お待ちしております。

おかせいなさーい！

〒999-3765
山形県東根市神町南1丁目1-16
TEL0237-47-2239

営業時間：1800～2400
定休日：日曜日
(予約があれば営業)

三協アウトドア部 刺しゅう工房

刺しゅうの事ならおまかせ

- ☆制服・戦闘服ネーム作成
- ☆各種刺しゅう
- ☆ネーム・階級章縫い付け
- ☆刺しゅう記念品
- ☆各種ワッペン

見積無料：お気軽にお問い合わせください

TEL:0237-47-0110
携帯:090-2023-4508(店長・阿部)

冠婚葬祭の事なら
アルファクラブグループへお任せください

婚礼 Wedding

- 山形県 3 式場
- 福島県 3 式場
- 岩手県 2 式場
- 茨城県 2 式場

防衛省自衛隊・OBの皆様には、特別特典と致しまして 5万円の贈行券が出ます。

葬祭 Funeral

- 山形地区 25 施設
- 福島地区 61 施設
- 岩手地区 54 施設
- 茨城地区 53 施設

さがみ典礼のご葬儀は、葬儀前・お葬式・葬儀後の不安をトータルサポート！

冠婚葬祭互助会 経済産業大臣（許可番号互第3070号）

山形支社 山形市松波4丁目11-16
TEL:023-615-6801 FAX:023-615-6802



令和7年 写真で振り返る連隊の活動



1月



〈年頭行事・訓練始め〉



〈連隊スキー指導官養成訓練〉

2月



〈連隊スキー競技会〉

3月



〈連隊創立35周年記念行事〉

4月



〈師団創立記念行事〉



〈生活体験支援〉

5月



〈がんばる車大集合支援〉



〈師団長初度巡視〉

6月



〈#1連隊錬成訓練〉



〈持続走競技会〉

7月



〈BU 隊付部隊実習〉



〈J-SAM空包射撃〉

8月



〈輸送隊・衛生隊連隊訓練検閲〉

9月



〈不発弾処理技能者養成訓練〉

10月



〈格闘指導官養成訓練〉



〈J-SAM方面選抜射撃〉

11月



〈准曹士昼礼 戦闘教練展示・説明〉

12月



〈連隊創立36周年記念行事〉

新築 からリフォーム 外構工事など

お住まいのこと おまかせ下さい！

新築 リフォーム リノベーション 土地探し
中古住宅 外構工事 相談・見積・資金繰り無料

ホウトクHOUSE株式会社

0120-81-5210

〒999-3717 山形県東根市一本木二丁目4番18号
【建築許可】山形県知事許可(般-4)第300237号【宅建許可】山形県知事(9)第1536号

「ともにしあわせに 毎日、ジョイン」

SUBSTRAVEL FUNERAL SUPPORT BRIDAL CUISINE

冠婚・葬祭しかりサポート ご葬儀は セレモニーホール山形 / セレモニーホール霞城 / セレモニーホール大野目 / セレモニーホール白山 / セレモニーホール上山 / セレモニーホール天童 / メモリアルホール寒河江 / メモリアルホール東根 / メモリアルホール葉山 / 鍋町 会館「樺」[橋] / セレモニーハート橋 / セレモニーハート緑 / セレモニーハート山辺 / セレモニーハート天童南 / セレモニーハート山形西 / セレモニーハート鶴田 / セレモニーハート西根

ご婚礼・ご宴会は パレスグランデール / オウソブルー山形

株式会社 **ジョイン** 山形市元木一丁目13-25
Tel 023-633-7733

経済産業大臣許可互第2005号

私のしろうい家

Instagramで 施工事例 公開中!

〒990-0011 山形市砂見97-1

せっめく建てをなら、
他と違う、こだわりを詰め込んだ
自然素材の家を建てたい。

- 漆喰・無垢材や造作キッチンに憧れがある方
- 既製品じゃなく、ひとつひとつに想いを込めた家がいい方
- アレルギーをお持ちで、毎日を健康的に過ごしたい方

漆喰と自然素材 × オーダーメイドの家づくり
「私のしろうい家」が叶えます。

先が見たいけど 営業されるのが嫌... 来場のご予約はこちら

0120-292-866

接客なしでの見学もOK

今日と未来を、つなぐ。

変化が激しく、新しい価値観が生まれる時代。今日という、一日一日を大切に。その積み重ねが、未来へとつながっていく。日本生命は今を生きるすべての人たちのトータルパートナーとして、これからも社会に向き合い続け、ともに歩んでいきます。

2021-1495G.総合企画部

日本生命保険相互会社 山形支社

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル3F
TEL: 023-615-8092 FAX: 023-643-9028
https://www.nissay.co.jp/ 007-25-087

モノづくり、モノがたり。

本社 〒990-0071 山形市流通センター1-5-3
TEL: 023-631-2056 FAX: 023-631-0649

仙台オフィス 〒984-8651 仙台市若林区郡部2-15-2-5F TRUNK#25
TEL: 022-369-3690 FAX: 022-369-3680

坂部印刷株式会社
http://sakabe-p.com